

# 医科用自動水栓

## 水栓セット

**工事店様へのお願い**  
 貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。  
 商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。

LF-58ASM-1 (単水栓タイプ)

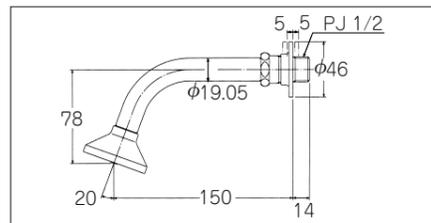
LF-B58TSM-1(サーモスタット付タイプ)

※この商品は赤外線センサー〔OK-22A〕(別売)と組み合わせて使用します。赤外線センサーに付属の施工説明書と取扱説明書を合わせてご覧ください。

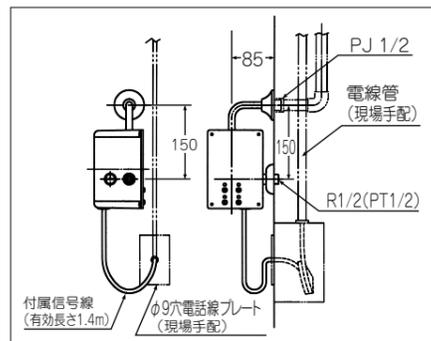
### ●商品図

LF-58ASM-1

(吐水口部)

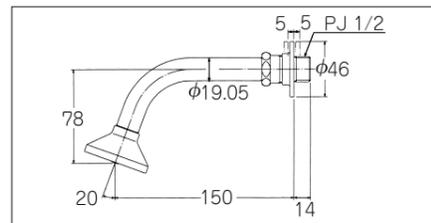


(電磁弁部)

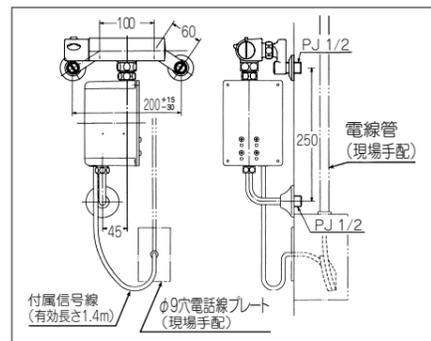


LF-B58TSM-1

(吐水口部)

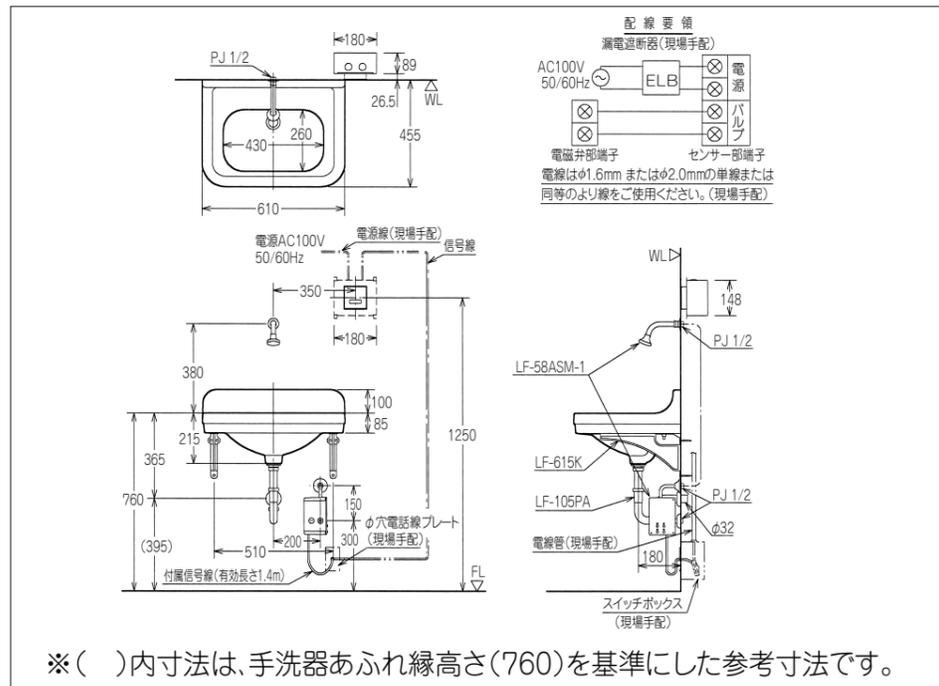


(電磁弁+サーモスタット部)

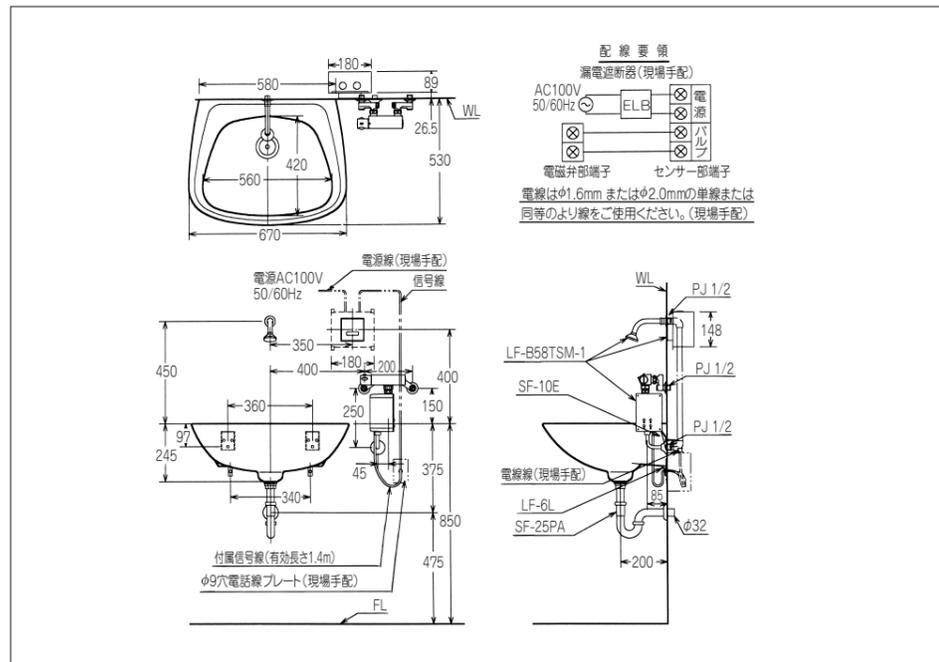


### ●施工完了図

LF-58ASM-1



LF-B58TSM-1



### ●安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

## ⚠ 注意

湯水を逆に配管しないでください。(LF-B58TSM-1の場合)  
 ※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

### ●使用条件

〔LF-58ASM-1の場合〕

- 給水圧力は0.05MPa {0.5kgf/cm<sup>2</sup>} ~ 0.59MPa {6kgf/cm<sup>2</sup>} です。
- 給水圧力が0.59MPa {6kgf/cm<sup>2</sup>} を超える場合は、市販減圧弁等で適正圧力(0.20~0.39MPa {2~4kgf/cm<sup>2</sup>} 程度)に減圧してください。

〔LF-B58TSM-1の場合〕

- 給水・給湯圧力は以下の条件を守ってください。  
 [ガス給湯器(比例制御式:16号相当)と組み合わせる場合]

$$\text{給水圧力} \begin{cases} \text{最低必要圧力} \cdots \begin{cases} A + 0.08\text{MPa} \{0.8\text{kgf/cm}^2\} \\ A + 0.10\text{MPa} \{1\text{kgf/cm}^2\} \end{cases} \\ \text{最高圧力} \cdots 0.59\text{MPa} \{6\text{kgf/cm}^2\} \end{cases}$$

Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

#### ●測定条件

- ※開閉ハンドルは全開です。
- ※ガス給湯器との組み合わせ条件が最も悪い冬期条件(給水温度5℃、吐出温度42℃)によるものです。
- ※給水圧力はガス給湯器直前における流動時の静水圧です。
- ※ガス給湯器の温度調節は最高温度設定です。

〔貯湯式温水器と組み合わせる場合〕

$$\text{給水・給湯圧力} \begin{cases} \text{最低必要圧力} \cdots 0.07\text{MPa} \{0.7\text{kgf/cm}^2\} \\ \text{最高圧力} \cdots 0.59\text{MPa} \{6\text{kgf/cm}^2\} \end{cases}$$

- 温度調節が容易で使い勝手をよくするために、給水圧力は給湯圧力より高圧が、または同圧となるようにしてください。

- 給水圧力が0.59MPa {6kgf/cm<sup>2</sup>} を超える場合は、市販減圧弁等で適正圧力(0.20~0.39MPa {2~4kgf/cm<sup>2</sup>} 程度)に減圧してください。
- 給湯温度は使用する最高温度より約10℃高く設定してください。
- 給湯温度は60℃以下で設定してください。
- 給湯に蒸気は使用できません。

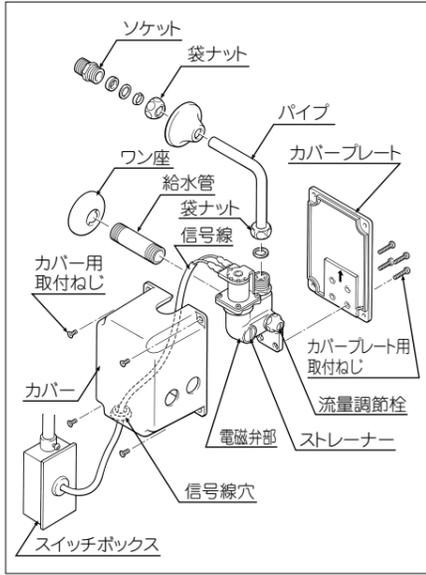
### ●施工前のご注意

- 給水は上水道に接続してください。  
 ※温泉水などの異物を多く含む水には使用できません。
- 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。  
 ※逆配管では表示通り湯が出ません。
- 給湯配管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。
- 商品の表面には直接工具を掛けないでください。  
 ※工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
- 開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように十分注意してください。
- 必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。

## ●施工方法

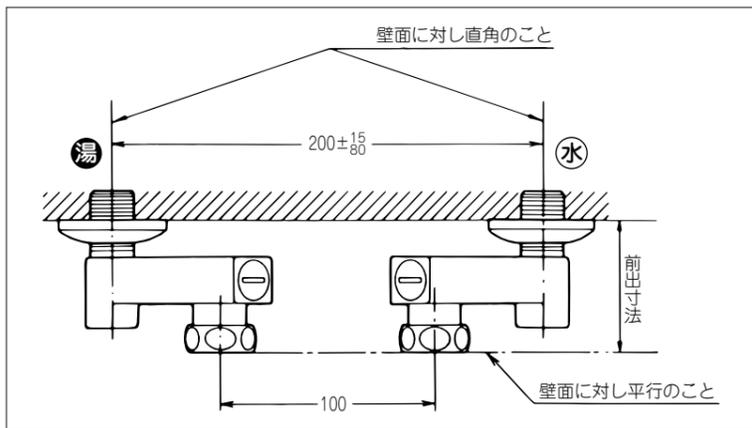
### 〔「電磁弁部」(LF-58ASM-1)の取付け〕

- (1)配管に給水管を取り付けワン座をかぶせます。
- (2)電磁弁部を給水管にねじ込みます。  
※電磁弁部に工具をかけられるようにしてありますので、必ずこの部分で締め付けてください。
- (3)吐水口部への埋設配管にソケットを取り付けます。  
※あらかじめ吐水口部は配管にねじ込み固定しておいてください。
- (4)パイプをソケットに差し込みソケットとパイプ、パイプと電磁弁部を袋ナットで締め付け接続します。
- (5)カバープレートを電磁弁部にカバープレート用取付ねじ(4本)で取り付けます。
- (6)信号線をカバー内の信号線穴に通してスイッチボックス内へ引き込み、センサー部からの信号線とつなぎ込みます。
- (7)カバーをカバープレートにカバー用取付ねじで取り付けます。

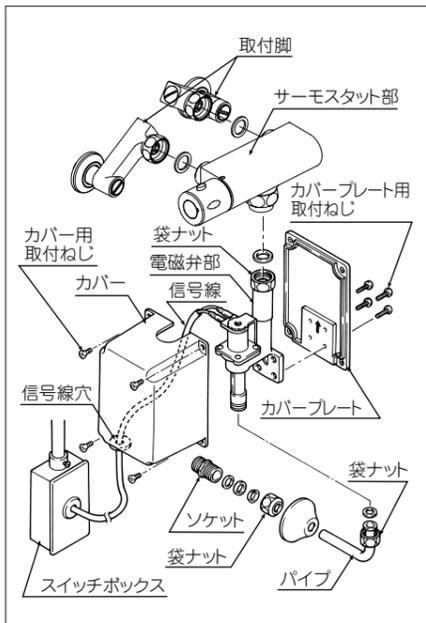


### 〔「電磁弁+サーモスタット部」(LF-B58TSM-1)の取付け〕

- (1)湯側、水側の取付脚は壁からの前出寸法が同一になるように取り付けます。



- (2)取付脚にサーモスタット部を取り付けます。
- (3)電磁弁部をサーモスタット部に袋ナットで取り付けます。
- (4)吐水口部への埋設配管にソケットを取り付けます。  
※あらかじめ吐水口部は配管にねじ込み固定しておいてください。
- (5)パイプをソケットに差し込みソケットとパイプ、パイプと電磁弁部を袋ナットで締め付け接続します。
- (6)カバープレートを電磁弁部にカバープレート用取付ねじ(4本)で取り付けます。
- (7)信号線をカバー内の信号線穴に通してスイッチボックス内へ引き込み、センサー部からの信号線とつなぎ込みます。
- (8)カバーをカバープレートにカバー用取付ねじで取り付けます。

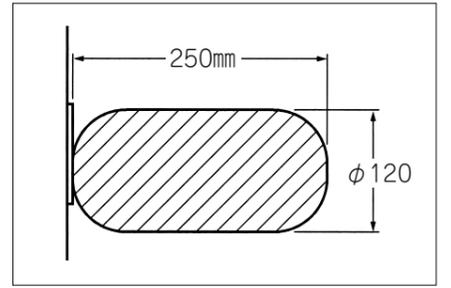


## ●施工後の調節

施工後、次の調節を行ってください。

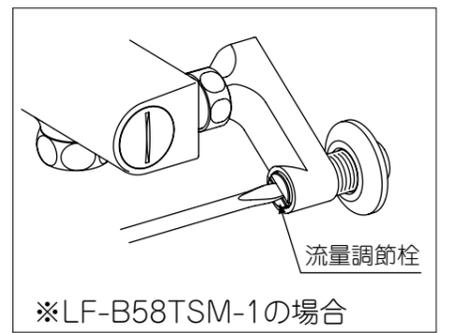
### ●作動確認

- (1)センサーの感知エリアは右図のようになっています。感知エリアに手を差し出すと水が出て、手を引くと約1~2秒後に止まります。  
※感知エリアに感知物がなく水が出てしまう場合は、赤外線センサー表面が汚れていないか確認してください。  
汚れていた場合は柔らかい布でふきとってください。



### ●流量調節

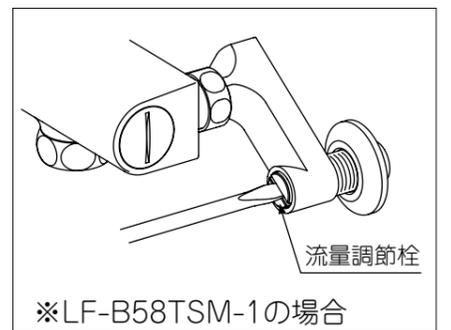
- 吐水口からの水の出が多かったり、少なかったりする場合は、水栓取付脚部または電磁弁部本体の流量調節栓を調節してください。  
水を出しながら流量調節栓で適切な量になるまで調節します。  
※右に回すと吐出量が少なくなり左に回すと吐出量が多くなります。



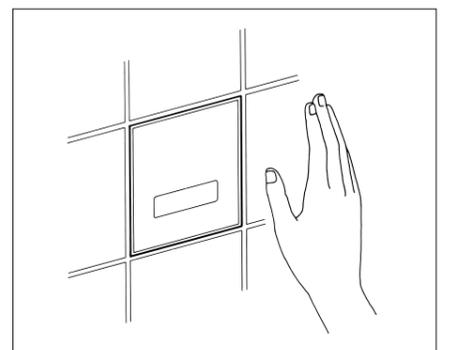
### ●ストレーナーの掃除

ストレーナーのゴミ詰まりは機能を低下させます。次の要領で掃除してください。

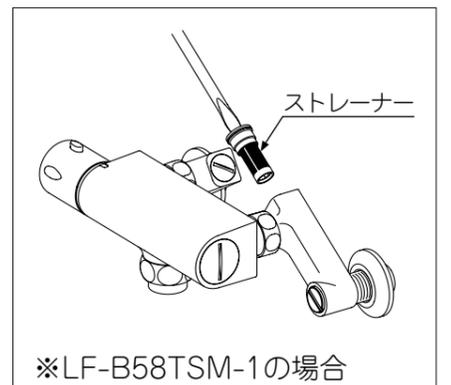
- (1)流量調節栓を時計回りにいっぱいねじ込みます。  
LF-B58TSM-1の場合、流量調節栓は湯側と水側の両方に付いています。  
LF-58ASM-1の場合、電磁弁部に付いています。



- (2)センサーに手をかざして電磁弁を開き、中にこもっている圧力を解放します。  
その後、もう一度センサーに手をかざして電磁弁を閉じて止水させます。弁を閉じないとストレーナーを外したとき弁より上部の水がストレーナー口より流出します。



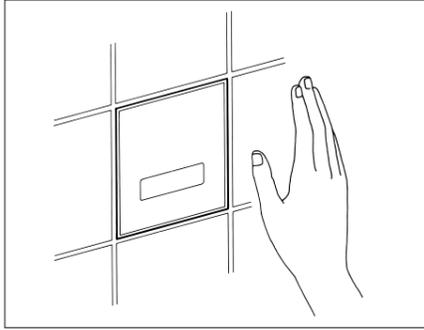
- (3)大形のマイナスドライバーでストレーナー付逆止弁を取り外し、ストレーナーのゴミ等を水で洗い流します。  
LF-B58TSM-1の場合、ストレーナーは湯側と水側の両方に付いています。  
LF-58ASM-1の場合、電磁弁部に付いています。



- (4)組付けは逆の手順で行い、流量調節栓は元の位置に戻してください。

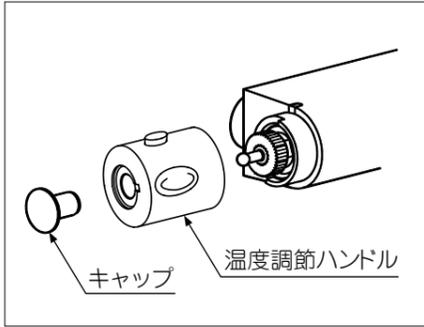
## ●温度調節（LF-B58TSM-1の場合）

(1)センサーに手をかざして吐水させ、吐水口から出る湯の温度を、温度目盛には関係なく40℃になるよう、温度調節ハンドルを回します。  
※このとき、吐出時間を長めに設定しておくとう調節がやりやすくなります。



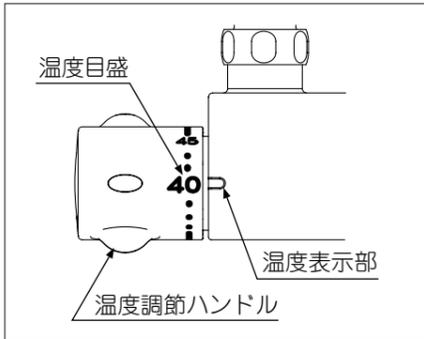
（赤外線センサーの施工説明書の「●吐出時間の調節」の項参照）

(2)センサーに手をかざして止水させ、温度調節ハンドルが回転しないように注意して、キャップ、温度調節ハンドルを抜き取ります。



※キャップを外すと、温度調節ハンドルは手でひっぱるだけで外れます。

(3)抜き取った温度調節ハンドルの温度目盛「40」が温度表示ボタンに合うように温度調節ハンドルをはめてキャップをはめ込みます。



## ●引渡前の確認

引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

### ●故障と点検

※点検箇所は下図を参照してください。

故障の状況	確認内容	処置方法	参照項目	点検箇所
吐出ししない	流量調節栓は開いていますか？	閉まっていれば開く。	「流量調節」	①
	断水中ではありませんか？	断水中であれば回復するまでお待ちください。		
	ストレーナーにゴミ等が付着していませんか？	ゴミ等を除去する。	「ストレーナーの掃除」	②
	赤外線センサー表面が汚れていませんか？	汚れていれば、きれいにします。	「作動確認」	
吐出量が少ない	圧力は十分か？	圧力を調節する。	「使用条件」	
	配管途中に大きな抵抗はないか？	抵抗となる障害物を取り除く。		
	流量調節栓を絞りにすぎいませんか？	適正吐出量まで開く。	「流量調節」	①
	ストレーナーにゴミ等が付着していませんか？	ゴミ等を除去する。	「ストレーナーの掃除」	②
吐出量が多い	流量調節栓を開きすぎていませんか？	適正吐出量まで絞る。	「流量調節」	①
水が止まらない (LF-B58TSM-1の場合)	ゴミかみはないか？	ゴミ等を除去する。		④
	キズはないか？	キズがあれば部品を交換する。		④
湯水の逆流がある (LF-B58TSM-1の場合)	逆止弁は正常か？ (ゴミ、砂かみは？) (Oリング、シートにキズは？)	ゴミ等を除去する。 キズがあれば部品を交換する。		③
希望の温度が得られない (LF-B58TSM-1の場合)	圧力は十分か？	圧力を調節する。	「使用条件」	
	ストレーナーにゴミ詰まりはないか？	ゴミ等を除去する。		②
	温度調節は良いか？	温度調節をする。	「温度調節」	⑤
	温調カートリッジは動いているか？	機能検査をする。	「機能検査」	
	流量調節はよいか？	流量調節をする。	「流量調節」	

### ●機能検査

(1)センサーに手をかざし吐水させる。

(2)温度調節ハンドル⑤を「40」に合わせる。

(3)流量調節栓①の水側のみを閉める。

※この時吐出がほとんど停止すれば機能は正常です。

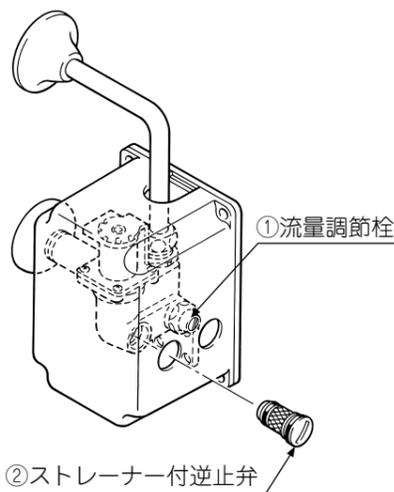
※吐出が止まらずそのままであれば温調カートリッジの故障ですから取替えが必要です。

(4)流量調節栓①の湯側のみを閉める。

※この時吐出がほとんど停止すれば機能は正常です。

※吐出が止まらずそのままであれば温調カートリッジの故障ですから取替えが必要です。

LF-58ASM-1



LF-B58TSM-1

